

令和4年9月21日

那須烏山市議会議長 渋井由放 様

文教福祉常任委員会委員長 福田長弘

決算審査結果報告書

本委員会に令和4年9月12日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 令和4年9月13日（火）及び14日（水）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第二委員会室
- 3 出席委員 福田長弘、高木洋一、相馬正典、田島信二、沼田邦彦、中山五男
- 4 説明のための出席者
市民課長 大谷啓夫、参事兼福祉事務所長兼健康福祉課長 皆川康代、
こども課長 川俣謙一、学校教育課長 大鐘智夫、生涯学習課長 水上和明、他関係職員
- 5 審査事項
本委員会の所管する市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課及び生涯学習課の令和3年度那須烏山市の一般会計及び特別会計歳入歳出決算
- 6 審査結果

本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の決算については、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

市民課

- ・来庁者への挨拶と接遇向上を心掛けられていることを評価する。個人情報の取り扱いにおいては万全を期され、市民一人ひとりに寄り添った市民目線の対応に引き続き心掛けられたい。
- ・マイナンバーカードは、コンビニでの証明書交付、健康保険証としての利用など、今後も国の施策で様々な機能が付与されていくものと思われる。取得における利便性を市民へ周知し、マイナンバーカードの普及促進に努められたい。

- ・熊田診療所については、今後のあり方を検討する市民アンケートの結果を踏まえ、地域医療を担う医療機関として今後の方針及び方向性を検討されたい。

健康福祉課

- ・高齢者等に対するワクチン接種が大きな混乱もなく実施できていることを評価する。市民への情報提供を速やかに行い、引き続き、新型コロナワクチン接種対策室を中心に、迅速かつ適切な実施体制の確保に努められたい。
- ・高齢化が進展していく中、高齢者が積極的に社会参加し、生きがいをもって住み慣れた地域で安心して日常生活を営むことができるよう、就労及び交流機会の充実につながる施策をさらに推進されたい。

こども課

- ・令和3年度新規事業である「なすから赤ちゃん応援券事業」は、有効な施策であるが、多様なニーズに対応し、誰もが安心して子どもを産み育てることができるよう、子ども・子育て支援施策の更なる充実を図られたい。
- ・こども館については、施設の老朽化が著しい。時代に合わせた施設となるよう、最適な運営方法を含め検討されたい。

学校教育課

- ・GIGAスクール構想により、小中学生に一人1台タブレット端末が整備された。子どもたちが端末を安全かつ適切に使いこなせるよう、情報活用能力の育成に努められたい。また、児童生徒間、学校間の教育格差がなくなるよう、学校・教職員と連携を図られたい。
- ・奨学金給付は「有用な人材の育成及び教育の機会均等に資する」ことを目的としている。市奨学金は給付型であり、家庭の経済的負担軽減には寄与しているが、「有用な人材の育成」という目的に合致しているか、担当課においては検証されたい。
- ・小規模の良さを生かした「特色ある学校運営」を目指し、境小学校を小規模特認校に指定したところである。今後の児童数の推移や地域の課題を踏まえながら、地域とともにある学校づくりを推進されたい。

生涯学習課

- ・令和4年度に本市で開催される国体アーチェリー競技会のリハーサル大会が開催された。リハーサル大会における課題を再確認し、本大会に向けて万全を期されたい。
- ・烏山体育館をはじめ、市の体育施設全般の老朽化が目立つ。公共施設等総合管理計画に沿って、計画的な修繕、施設の統廃合を積極的に検討されたい。
- ・市の文化財資源については、デジタル博物館をさらに市民に周知し、普及啓発活動に取り組みられたい。また、旧七合中学校の歴史的な収蔵資料については、適切な保存・管理に努められたい。